

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	部	課	事業									
1	I	I	1 (1) (2)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、様々な講座・セミナーを実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女参画まちづくりセミナー 6回 ・参画センター出前セミナー 6回 など	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 学習研修事業(全66回) ・男女参画まちづくりセミナー 5回 ・参画センター出前セミナー 19回 など	5	予定通り事業が実施され、また設定した目標が達成されているため	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女参画まちづくりセミナー 6回 ・参画センター出前セミナー 6回など	男女共同参画推進室
2	I	I	1 (1) (2)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/24~28) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/24~28) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	5	予定通り事業が実施され、また設定した目標が達成されているため	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~27) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	
3	I	I	1 (1)	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子50組	夏休み親子消費者教室の実施(8月1日) 参加者:市内の小学生の親子52組116人	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計が約89%と高く、「次回も参加したい」という感想も多かった。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子50組	
4	I	I	1 (1)	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を開催(9月26日) 参加者102人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「まあまあよかった」の合計が約83%と高かった。 市民の参加は40人にとどまった。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	
5	I	I	1 (1)	消費者ウィーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウィークに、各種啓発事業を実施する。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催し、パネル展など消費者問題に関する啓発を目的とした各種事業を行う 平成25年5月25日・26日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成25年5月29日(水) 市役所13階大会議室	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成25年5月25日・26日 イオンモール高松1階シーコート 入場者 約3,000人 ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「特定商取引法の変遷にみる消費者トラブル～相談現場からの報告～」 平成25年5月29日(水)13:30~15:00 市役所13階大会議室	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「よかった」の合計が約75%と、昨年度より満足度が5%増加した。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「こけ枝の笑って学ぶ消費者トラブル」 平成26年5月28日(水)13:30~15:00 市役所13階大会議室	地域政策課
6	I	I	1 (1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしを見直す市民集い運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 消費者問題に関する啓発を目的とした各種事業を行う 平成25年5月25日・26日 イオンモール高松1階シーコート	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成25年5月25日・26日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・リフォームファッションショー・エコ工作・啓発講座ほか)を行った。 入場者 約3,000人	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「よかった」の合計が約75%と、昨年度より満足度が5%増加した。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・リフォームファッションショー・エコ工作・啓発講座ほか)を行う。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会に講座の中で「寸劇」コーナーで参加してもらうことで、出前講座が各地域にひろがるよう努める。	実施回数:10回(コミュニティセンター、老人会等)	5	昨年度より多く実施でき、特に消費者トラブルに遭いやすい高齢者に向けた啓発に有効であった。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会に講座の中で「寸劇」コーナーに参加してもらうことで、出前講座が各地域に広がるよう努める。	地域政策課
8	I	1	(1)	ひとり親家庭就労自立支援セミナー	市	ひとり親を対象に、早期就職に必要な知識・技術等を習得できるよう、きめ細やかで特色ある講座を開設する。	ひとり親家庭の父母を対象に、今後の生活設計に役立つ講義や履歴書の書き方・模擬面接など就労に向けて必要な知識等を習得できる講座を開設する。全12回(6回×2期)	ひとり親家庭の父母を対象に、今後の生活設計に役立つ講義や履歴書の書き方・模擬面接など就労に向けて必要な知識等を習得できる講座を開設した。	3	参加者のうち、14名が就職に結びついた実績はあるものの、受講者を増加させる工夫が必要。	全12回(6回×2期、各参加人員20名)	子ども家庭課
9	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	これから犬や猫を飼おうと考えている市民に対する講習会を、開催する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底を中心に講習会を保健所で実施した。実施回数:23回 受講人数:98名	3	受講希望者がいなかったため、中止となったことがあり、予定回数を実施できなかったため。	これから犬や猫を飼おうと考えている市民に対する講習会を、受講者の都合に配慮し、個別に開催する。	生活衛生課
10	I	1	(1)	犬の飼い方教室	市	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催	基本的な飼い方・しつけ方、健康管理、お悩み相談等について、保健所で11月15日に開催した。参加人数:13名	3	参加者にはアンケートを実施し、教室の内容についておおむね好評だったが、参加人数は、H24年度より減少したため。	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	
11	I	1	(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行った。家庭訪問、来所・電話相談件数:113件	4	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に電話や事務所相談、家庭訪問等に対応し、支援した結果、相談件数が増加した。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対し、関係機関等と連携しながら支援するとともに、国のひきこもり対策推進実施要領を踏まえ、ひきこもりサポーター派遣事業の実施に向け、関係機関と連携して検討する。	保健センター
12	I II	1 2	(1) (2)	NPO等の活用による環境学習活動	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	24年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施した。また、環境活動団体の活動状況を発表する場を設けるとともに、新たな団体等より協力を得られた。	5	新たな環境活動団体等に呼びかけを行った結果、NPO等、協力団体が増となった。	25年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境保全推進課
13	I I	1 5	(1) (3)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、パソコン講座・音楽教室・英会話教室などの各種文化教養や、エアロ・サルサダンス・ピラティス・ヨガなどのスポーツ講座等を開催する。	パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、自力整体や寄せ植え教室など多種多様な講座を開催した。また、環境活動団体の活動状況を発表する場を設けるとともに、新たな団体等より協力を得られた。 パソコン講座受講者数:1,004人 音楽コース受講者数:485人 その他講座・教室受講者数:446人	2	昨年度に比べ、パソコン講座の受講者数が増加した一方、音楽コースの受講者が減少した結果、総受講者数が減少し、目標を達成できなかったため。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座・音楽教室・英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。	産業振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
14	I	1	(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、新規学卒予定者や中途採用希望者などを対象に、就職に関する悩みや抱えている課題解決の支援を無料で行う「就活応援・適職相談事業」を開催する。	・1月14日、15日の2日間開催。就労・職業相談に加え、新たに企業誘致優遇制度による指定企業紹介コーナーを設置し、企業のPRを行った。 来場者数:379人 相談件数:48件	4	開催回数が年2回→年1回に変更したことにより、相談件数が減少したが、中小企業等のPRコーナーを設けることにより、実人数は大幅に増加したため。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	産業振興課
15	I III	1 2	(1) (2)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	開催日:平成26年1月13日(月) 開催場所:サンポートホール高松 参加対象者:約4,000人	開催日:平成26年1月13日(月) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:3,971人 出席者数:2,295人 出席率:57.8%	3	参加した成人の数は例年並みであったが、天候が良く、会場内に入らない成人が多かったため、出席率が下がった。	開催日:平成27年1月11日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:約4,000人	生涯学習課
16	I II	1 2	(1) (2)	知的障害者青年教室	市	知的障害のある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障害者への理解を深める機会として教室を開講する。	年間8回(5,6,7,9,10,11,1,2月)実施 受講生登録者数 45人 ボランティア登録者数 50人	開催日:5/19,6/30,8/4,9/29,10/27,11/24,1/26,2/23(計8回) 場所:生涯学習センター他 内容:ボランティア研修他 受講生:182人 ボランティア:153人	4	概ね達成できた。	年間8回(5,6,7,9,10,11,1,2月)実施 受講生登録者数 45人 ボランティア登録者数 50人	生涯学習課
17	I	1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数は、9,654人であった。	3	講座回数は増加したが、講座参加人数は、目標に達しなかった。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	
18	I I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター講座	市, コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、講座参加人数106,500人を目指す。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数は、102,572人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数106,500人を目指す。	生涯学習センター
19	I I	1 5	(1) (2)	高齢者教室	市, コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数22,800人を目指す。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数は、21,455人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数22,800人を目指す。	生涯学習センター
20	I I	1 5	(1) (2)	女性教室	市, コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,200人を目指す。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数は、12,291人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,500人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
21	I	I	1 5 (1) (3)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。(12回派遣)	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図った。(4回派遣)	3	目標の派遣回数に届かなかった。更なるPRが必要である。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。(6回派遣)	中央図書館
22	I	I	1 (1)	交通安全教室(再掲)	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	—	—	—	—	—	交通安全対策室
23	I	I	1 (1)	市民グループ学習支援事業(再掲)	市	自発的な学習意欲を持つ市民団体を公募し、女性の資質・能力の向上や家庭教育に関する学習活動を助成する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
24	I	I	1 (2)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター高松市人権啓発推進協議会	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布および、人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○平和と人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ポスター650枚、ポケットティッシュ10,000袋、ステッカー200枚、リーフレット13,500部 ○人権フェスティバルの開催 6月2日 ○平和と人権を守る市民のつどいの開催 12月8日 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 2月21日 ○人権の花運動 小学校10校配置	5	○計画どおり実施できた。 ○商店街に人権啓発パネルを吊るすなど新たな取組みを行った。 ○人権フェスティバルに文化センター・児童館のコーナーをふやすなど、新たな取組みを行った。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	人権啓発課
25	I	III	1 2 (2) (1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営および広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営および広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 2月21日、3月20・23日 ○各地域コミュニティ協議会の人権推進員による啓発事業の実施	4	○計画どおり実施できた。 ○人権啓発推進員研修会を日曜日に開催するなどした。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営および広報活動	人権啓発課
26	I	I	1 (2)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(3日)	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 11月12・18・28日	5	○計画どおり実施できた。 ○研修会場の変更などにより、参加者がふえた。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(3日)	人権啓発課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
27	I	1	(2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい、映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展を開催した。 ○平和記念だよりを発行した。(2回)	5	計画通り事業を実施したことにより、市民の平和意識の啓発・普及につながった。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展の開催 ○平和記念だよりの発行	人権啓発課
28	I	1	(2)	許可・登録業者人権研修講座	市	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	市内の許可・登録事業主を対象に、人権・同和問題について正しい理解と認識を持っていただくため、啓発パンフレットの配布を行うとともに、人権啓発研修等を実施し、企業啓発活動を行う。	・11月19日に人権研修講座を開催。講師を招き「人によさしい企業でありたい〜公正な採用選考について〜」について講話を行った。 受講者数:238人 ・3月25日付けで人権啓発に関するパンフレットを配布した。 配布企業者数:1,267社	5	受講者数が目標値を上回り、人権・同和問題に対する企業の意識が高まっていると考えられるため。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	産業振興課
29	I IV	1 1	(2) (1)	多文化共生事業	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、毎月第2金曜日に高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施する外国人向けイベントや日常生活、行政、地域などに関する情報等を提供するため、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	毎月第2金曜日に英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信し、外国人住民への情報提供を行うことができた。	5	毎月第2金曜日に「多言語メルマガ もっと高松」を配信できており、英語・中国語のメルマガジンへの登録者数も増加しているため。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、毎月第2金曜日に高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施する外国人向けイベントや日常生活、行政、地域などに関する情報等を提供するため、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	都市交流室
30	I	1	(2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互理解・交流を深めるために実施する。	(公財)香川県国際交流協会との共催で、平成25年10月20日(日)に香川国際交流会館(アイバル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2013」を開催。約3,600人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	4	平成24年度と比べ開催日数が短くなったため、参加者数が減少しているため。	(公財)香川県国際交流協会と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互理解・交流を深めるために実施する。	
31	I	1	(2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	51コミュニティセンターで開催	42コミュニティセンターで開催 のべ2,145名参加	4	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。	51コミュニティセンターで開催	人権教育課
32	I	1	(2)	男女共同参画センター学習(再掲)	NPO法人たかまつ男女共同参画ネットワーク(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	—	—	—	—	—	男女共同参画推進室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
33	I	1	(2)	男女共同参画週間事業(再掲)	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	—	—	—	—	—	男女共同参画推進室
34	I	1	(2)	みんなで人権を考える会(再掲)	市, 高松市人権教育推進協議会(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	—	—	—	—	—	人権教育課
35	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	瀬戸内国際芸術祭2013開催 芸術祭実行委員会負担金 芸術祭関連事業(高松市版総合ガイドブック作成およびイベント実施など)	瀬戸内国際芸術祭2013は春・夏・秋の3シーズンに期間を分けて開催した。独自のPR情報誌を制作し、また各種文化的なイベントを実施し、年間を通じた誘客促進と地域活性化に向けた取り組みを進めた。 開催期間、来場者数は 春期:平成25年3月20日～4月21日 263,014人 夏期:平成25年7月20日～9月1日 435,370人 秋期:平成25年10月5日～11月4日 371,984人 計1,070,368人となった。	5	前回開催と比較し、開催期間も長く来場者数は著しく増加し、より本市はもとより、瀬戸内の魅力を発信することができたため。	第3回瀬戸内国際芸術祭開催に向け、県や関係町と連携して準備を進めるとともに、女木島、男木島、大島、高松港周辺に設置している27作品に係る管理運営を行う。	
36	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ事業運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	企画募集・プレゼンテーション等による選考・参加団体(企画)決定 ポスター・プログラム作成(デザインコンペ・印刷・配付) アーツフェスタたかまつ2013開催(5/下旬～6/下旬(予定)) 運営委員会において、次年度開催日程等の検討 合併地区文化祭開催支援	アーツフェスタたかまつ2013を平成25年6月1日(土)から7月7日(日)まで開催した。コンサート、ダンス、日本舞踊など主催19事業、参加2事業あり、鑑賞者数は13,000人となった。	5	前年度開催より鑑賞者は2,000人増え、振興が図られたため。	平成26年度においてもアーツフェスタ2014を平成26年5月31日(土)から7月6日(日)まで開催。	文化芸術振興課
37	I	1	(3)	デリバリーアーツ事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	音楽や舞踊等の出前公演 20か所(直島町・さぬき市含む)	平成25年8月から平成26年3月の期間において、クラシック音楽、太鼓演奏会、アフリカ伝統音楽演奏会、古典落語、影絵劇、サクソフォーン四重奏の6メニューにより、コミュニティ、老健施設等において計17回の実施した。	4	前年度もメニュー内容は少々異なるものの、6メニュー、17回の開催であったため。	平成26年9月から平成27年2月までの開催期間で、メニューをアフリカ伝統音楽演奏会をプラスバンド演奏会に変更し新たなメニューで実施する。	
38	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業9事業、共催2事業、主催(自己財)3事業の14事業を実施する。	主催事業8事業、共催事業2事業、基金事業2事業を実施した。	4	前年度より実施数は減少したものの、文化芸術ホール開館10周年記念事業準備等を行ったため。	主催(補助)事業12事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業3事業を計画。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
39	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	サンポート高松および丸亀町商店街などで、音楽・ダンス・大道芸など、アートに関連したイベント5事業を実施する。	出演者 街角に音楽をフェスティバル 17組 街クラシックin高松 13組 高松フラワーストリート 11組 ワールドダンスフェスティバル 7組 高松大道芸フェスタ 17組 瀬戸・高松ミュージックフェスティバル 14組 を実施した。	5	前年度と内容は同等のものであったが、来場者数は増加したため。	平成25年度と同様の事業ではあるが、出演者の変更等内容も変化を加えて実施する。	文化芸術振興課
40	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	エントランス・ミニコンサート開催 塩江美術館ウィンターコンサート開催	特別展会期中に、エントランスホールを会場として、県内若手演奏家によるミニコンサートを開催した。実施回数7回、参加者数846人	3	演奏者の都合により、前年度より実施回数が減少したため。	実施回数7回程度を開催する。	美術館美術課
41	I I	1 4	(3) (1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26～)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・石清尾八幡宮、高松城跡など7箇所 県内・・・丸亀城、讃岐国府跡など3箇所	ふるさと探訪を年間10回開催 市内・・・西宝町(西方寺ほか)、高松城跡など7箇所 市外・・・丸亀市(丸亀城跡)、坂出市(讃岐国府跡ほか)など3箇所	4	探訪先に発掘調査現場を加えるなど、参加者に興味を持ってもらいやすいテーマを設定し、市外開催の時でも多くの方に参加いただいたため。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・鬼無町(桃太郎神社ほか)、十川東町(十河城跡ほか)など8箇所 市外・・・丸亀市(妙法寺ほか)など2箇所	文化財課
42	I I	1 4	(3) (3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	親子で学べる文化財講座を年2回開催予定(予定内容) ① 高松城跡を探検しよう ② お茶室の見学 (公財)中條文化振興財団	① 高松城跡を探検しよう! ② お茶のおもてなしの心を考えよう!	3	夏休み・冬休みの行事として定着してきてはいるが目標人数達成には届かなかった。	①高松城跡地久槽台石割り体験 ②勾玉づくり	文化財課
43	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	(H25年度中5回開催予定) 「口笛&オカリナコンサート」5/18 「the Bistro W & piano 長船紗希」7/20 「Lunareコンサート」10/19 「親子で歌いごう日本の歌百選(仮)」12/21 「チェンバロとフラウト・トラヴェルソ(仮)」3/15	H25年度5回開催 「口笛&オカリナコンサート」5/18 「the Bistro W & piano 長船紗希」7/20 「Lunareコンサート」10/19 「親子で歌いごう日本の歌百選 冬編」12/21 「Wチェンバロ！」2/22	5	入場者数がやや低調となってきたが、牟礼地区のコンサートとして定着している。	(H26年度中5回開催予定) 「あなたに贈る愛の歌」5/17 「サクソフォンリサイタル」7/26 「歌いごう日本の歌百選 秋編」10/18 「森田学バスリサイタル(仮)」12/20 「開館20周年記念コンサート 日本歌曲・ドイツ歌曲の夕べ(仮)」3/21	石の民俗資料館
44	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ振興事業団	市民の健康増進と体向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体向上を図るため、88教室を実施し、延べ68,000人の参加を予定。	91教室 35,515人	4	実施教室数が増えたが、参加者数は例年通りだった。	市民の健康増進と体向上を図るため、88教室を実施し、延べ178,000人の参加を予定。	スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ									
45	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民参加の機会として、小学校区対抗競技10種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンを実施する。	小学校区対抗競技9種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンinAIIを実施する。	小学校区対抗競技水泳競技大会 トリムの祭典 AIIマラソン 参加総数 9,488人	3	参加チームが減少し、参加者数が減少している。現在、見直しを実施している。	小学校区対抗競技9種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンinAIIを実施する	スポーツ振興課
46	I	1	(4)	こんぴら健脚大会	市	歩くことの意義を再確認し、足腰の鍛錬と健康増進を図るため、琴平高灯籠を目指して健脚大会を開催する。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く	参加者147人	4	25年度からコースを変更し、距離を短縮したが、例年通りの参加者数だった。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く	
47	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	市	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる体験するをコンセプトに実施する。	参加者3,026人	3	天候不良のため、室内での種目実施となったため、参加者数が減少した。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	
48	I	1	(4)	体育の日 スポーツ施設無料開放事業	市	体育の日にスポーツ施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	開放施設数:12施設 参加者数:1,474人	3	各競技団体に教室等を実施してもらい、参加者増をしているが、周知不足のため、参加者数が減少している。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	
49	I Ⅲ	1 1	(4) (1)	市民登山学校	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため、講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	のべ参加者数1,396人	4	例年通りの参加者数であった	月1回の講座と実技を実施する。	
50	I	1	(4)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業(再掲)	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	—	—	—	—	—	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
51 (1)	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託, 直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	(こども園運営課) 保育所において、子育て家庭の親とその子どもを対象に、子育ての知識と経験を有する専任の職員が、子育て等に関する相談、援助を実施する。また子育て親子の交流の場の提供と交流を促進することで、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。	(こども園運営課) 私立保育所に委託(旧センター型) 19か所 週6～7日開設 7,920千円×5か所 週5日開設 7,420千円×12か所 小規模型 2,580千円×2か所 (機能強化型加算 1,550千円×1か所)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所に委託(旧センター型) 19か所 週6～7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 3,850千円×1か所)	こども園運営課
51 (2)	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託, 直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	(子育て支援課) NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,920千円×2か所 加算事業 4,040千円×2か所 週5日開設 7,420千円×6か所 8,760千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型, 経過措置) 1か所(旧センター型) 香川保健センター内 2,517千円 はらこども園内 2,808千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,420千円×1か所 子育て支援対策臨時特例交付金(安心こども基金)事業	(子育て支援課) ・NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,920千円×2か所 加算事業 4,040千円×2か所 週5日開設 7,420千円×6か所 8,760千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型, 経過措置) 香川保健センター内 2,517千円 ・直営1か所(旧センター型) はらこども園内 2,808千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,420千円×1か所 子育て支援対策臨時特例交付金(安心こども基金)事業	4	地域機能強化型として年度途中に3施設と契約し、地域支援及び利用者支援事業を開始した。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型, 経過措置) 香川保健センター内 2,422千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 5,580千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 保育緊急確保事業費補助金事業	子育て支援課
52	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て推進事業	市(委託, 直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	保育所・こども園において、未就園児を対象に、月1回午前中に保育所の運動場や室内を開放し、手遊びや季節のあそび・製作等を親子で、保育所の子どもとふれあわせてあそぶ。また、子育て相談や保護者同士の情報交換の機会を提供している。(子育て支援課)NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,920千円×2か所 加算事業 4,040千円×2か所 週5日開設 7,420千円×6か所 8,760千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型, 経過措置) 1か所(旧センター型) 香川保健センター内 2,517千円 はらこども園内 2,808千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,420千円×1か所 子育て支援対策臨時特例交付金(安心こども基金)事業	私立保育所 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 23か所(直営) 合計39か所で実施	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 23か所(直営) 合計39か所で実施	こども園運営課
53	I	2	(1)	はじめてのパパママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。とくに、父親の育児参加を促すために父親対象に沐浴実習等実施する。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行った。 17回、650人(うち夫330人)	4	父親が、出産後スムーズに育児参加ができるように、体験学習を中心に構成し、参加者の満足度も高かった。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	保健センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
54	I	2	(1)	子育て方向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	・高松市立全小中学校の就学時健康診断時、また希望する市民グループ・幼稚園は通年で行う。講師は小学校や市民グループ・幼稚園に希望調査を行い選定する。	小学校(就学時健診):46講座 小学校(入学説明会):46講座 市立幼稚園:30講座 市民グループ:4講座 参加者数:9,176人	4	市立幼稚園・小学校の協力で、目標以上の講座開設できた。	市立小学校(就学時健康診断):49講座 市立小学校(入学説明会他):49講座 市立幼稚園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:11講座	
55	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	開催予定日:平成25年10月25日(金) 講師:熊丸みつ子 演題:「(未定)」 共催:高松市PTA連絡協議会	開催日:平成25年10月25日(金) 場所:生涯学習センター 講師:熊丸みつ子(子育てアドバイザー) テーマ:「うちの子最高!今を生きる子どもたちへ伝えたい～親として、大人として、地域として～」 参加者数:100人	4	予定通り開催できた。なお、アンケートの結果は、9割が良かったとの評価であった。	開催予定日:平成26年10月23日(木) 場所:生涯学習センター 講師:熊丸みつ子 演題:「(未定)」	生涯学習課
56	I IV	2 1	(1) (1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成25年7月1日～15日 講師:好井明子氏(子育て方向上応援講座講師) テーマ:「元気で安全に夏休みを過ごすために」	放送期間:平成25年7月1日～15日 講師:好井明子氏(子育て方向上応援講座講師) テーマ:「元気で安全に夏休みを過ごすために」	4	予定どおり実施した。	放送期間:平成26年7月16日～31日 講師:安藤 美智子氏(あんどう発達クリニック小児神経内科) テーマ:「子どもの成長について(仮)」	
57	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数28,600人を目指す。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数は、22,290人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数28,600人を目指す。	生涯学習センター
58	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本バックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図った。	4	成果が上がっているが、相談・受取拒否など難しい時代になっている。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センター等で実施している4ヶ月相談時に絵本バックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	中央図書館
59	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	保育所・幼稚園・こども園において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施するほか、クッキング保育時の衛生指導、アレルギー児への食事提供の指導についても実施する。	市立保育所 16か所 市立幼稚園 8か所 こども園 3か所 合計27か所で実施	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	10か所で実施	こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	()									
60	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	授乳期・離乳期および幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行った。 293回 3,326人(4か月児相談のみ)	4	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行った。食育への関心を高めるためには、より効果的な啓発方法等を検討する必要がある。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	保健センター
61	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・食育フェスタと学校給食展(市民ホール)での啓発コーナーの設置 ・「朝ごはんを食べよう」啓発ちらし・ポスター(市作成)を配布(小学校) ・啓発用クリアファイルの作成、就学時健診等で参加者へ配布 ・就学時健康診断等を活用した啓発活動の実施(講師および職員) ・啓発ちらし(協議会作成)を就学前健診等で参加者へ配布	・食育フェスタ(6月)、学校給食展(1月)に啓発コーナーの設置 ・啓発チラシ(全児童)ポスター(保・幼・小)へ配布 ・子育て力向上応援講座での啓発活動(講師及び職員)及びリーフレット配布等	4	計画通り事業が実施できた。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動ほか	生涯学習課
62	I IV	2 1	(3) (3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:1,981件	5	相談件数が昨年度より増加したが、非常に高い問題解決率を保っている。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	地域政策課
63	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時 相談延件数 212件	4	平成25年度においては、専門の子育て相談員が延212件の子育てに関する相談に応じた。 チラシ等で相談窓口について周知しているが、さらに周知の機会を捉え、広く市民に相談窓口の周知を図っていく。	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時	子ども女性相談室
64	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行った。 591回、7,411人	4	乳幼児の成長発達が確認でき、保護者には、育児相談や保護者同士の交流の場となっているが、相談時間等を検討する必要がある。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健センター
65	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応した。 対応件数65件	5	保護者等からの相談内容を、学校のいじめ対応に利用することができた。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	学校教育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	I	2	(3)									
66	I	2	(3)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレホン」を開設する。	相談件数 40件	相談件数 29件	4	それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応はできた。	相談件数 40件	少年育成センター
67	I	2	(3)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託, 直営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	来課および電話による教育相談を実施する。	77件の教育相談に対応した	3	相談時間のずれ違い等により、対応できた教育相談の回数は想定に達しなかった。	カウンセラーによる相談の機会を増やすことで、相談体制を充実させる。	総合教育センター
68	I	2	(3)	地域子育て支援拠点事業(再掲)	市(委託, 直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	—	—	—	—	—	子育て支援課 こども園運営課
69	I	2	(3)	地域子育て推進事業(再掲)	市	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	—	—	—	—	—	こども園運営課
70	I	2	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業(再掲)	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	—	—	—	—	—	こども園運営課
71	Ⅲ	2	(3)	少年相談員養成事業(再掲)	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	—	—	—	—	—	少年育成センター
72	I Ⅲ	3 2	(1) (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校を複数校選定し、子育て支援団体に委託し、実施する。	対象中学校を2校選定し、学年団全クラスの中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、体験学習を行った。近隣の子育て支援団体に委託した上で、実施した。	5	平成23年度から開始し、毎年事業内容の拡充を続けている。子どもが健康やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。	中学生(5校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。対象校を5校選定し、子育て支援団体に委託し、実施する。	子育て支援課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
73	I	3	(1)	保育所・幼稚園への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	5	設定した目標を達成している	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	こども園運営課
74	I	3	(1)	学校巡回芸術・能楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	【芸術教室】邦楽、日舞、民謡、洋楽、洋舞、ミュージカルソウ、雅楽、リコーダー/ストロー笛、落語、オーケストラの鑑賞型と、邦楽、日舞、民謡、洋楽、洋舞の体験型、計15メニューで市内小・中学校に希望調査を行い、21校で開催する。 【能楽教室】能楽教室、囃子教室、狂言教室の3メニュー、6校で開催	学校巡回芸術教室は、平成25年6月～平成26年1月の期間で、小学校17校、中学校3校で実施した。鑑賞者は8,360人となった。 能楽教室は、平成25年10月22日(火)に小学校5校、中学校1校で開催した。鑑賞者は2,172人となった。	4	学校巡回芸術教室は、前年度に比べ鑑賞者は増加し、小中学生に対し、芸術に触れる機会の増加が図られたものの、能楽教室は、鑑賞者数が減ったため。	平成26年度においても洋楽・邦楽・雅楽等の鑑賞の機会を提供する。 能楽教室も、能楽・狂言・囃子教室を開催する。	文化芸術振興課
75	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでのものにチャレンジする機会を提供し、もの大切さを体験する。	人形作り、編物、洋裁、和裁の11メニュー15校で開催	平成25年5月～平成26年3月までの間に編物、洋裁、和裁、人形作りを行い、計829人の参加となった。	4	参加者は前年とほぼ同数であり、今後も参加者数と内容の様子を見る。	平成25年度と同様のメニューで開催する。	文化芸術振興課
76	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	美術館学習実施	サンクリスタル学習参加校のうち美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展示会の団体鑑賞や施設見学、アートゲーム等の活動を実施。参加校14校、参加者数1,160人	4	設定した目標が達成されているなど、十分成果が上がっているため。	実施参加校15校を予定。	美術館美術課
77	I	3	(1)(3)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図った。 達成率100%	5	関係校全てで実施された。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	
78	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図った。(発表校:小学校24校、中学校11校)	5	関係校全てで実施された。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	学校教育課
79	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施した。(実施校16校)	5	約73%の中学校で実施された。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地の旅」を実施する。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	部	課	事業									
80	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育んだ。 (小学校16校、中学校22校(全校))	5	中学校全てで実施された。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	学校教育課
81	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介し、食の現状と課題への理解を深めるための「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施予定	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施。(7月19組、11月19組、3月9組参加)	4	調理場見学、収穫体験、料理教室を実施し、学校給食を中心とした食育の拠点となっている。今後、多くの希望者が参加できるよう検討していく。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施予定。	保健体育課
82	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	小学校中高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	(歴史資料館・菊池寛記念館) 小学校中高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。学校教育との連携を図り、小学校中・高学年を対象としてサンクリスタル学習(歴史資料館、菊池記念館および中央図書館3館の体験学習)を実施する。 (中央図書館) このうち、中央図書館では所蔵本の配置構成や利用の仕方などについて説明し、今後の図書館利用につながる学習を行う。	(歴史資料館・菊池寛記念館) 学校教育との連携を図り、小学校中・高学年を対象としてサンクリスタル学習(歴史資料館、菊池記念館及び中央図書館3館の体験学習)を実施した。 (中央図書館) このうち、中央図書館では所蔵本の配置構成や利用の仕方などについて説明し、今後の図書館利用につながる学習を行った。	5	前年度より参加校が増加したため。	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習を実施する。	歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館
83	I	3	(1)	交通安全教室(再掲)	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	—	—	—	—	—	交通安全対策室
84	I I	3 1	(2) (2)	みんなで人権を考える会	市、高松市人権教育推進協議会(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	高松国分寺ホールで開催	H25.7.28に高松国分寺ホールで「みんなで人権を考える会2013」を開催した。 参加者 454名	4	出演団体や内容をより工夫し、参加者を増やす取組が必要である。	「みんなで人権を考える会2014」をサンポートホール高松で開催する。	人権教育課
85	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	30市立幼稚園、49小学校、22中学校で開催	30市立幼稚園、49小学校、22中学校で開催のべ21,212名参加	5	すべての市立幼稚園、小中学校において開催できた。	30市立幼稚園、50小学校、23中学校で開催	人権教育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ									
86	Ⅰ	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、小学5年生(必要に応じて6年生)を対象とした買い物テーマとした出前講座を市内の小学校で実施する。	実施回数:20回	4	実施回数は伸びなかったが、事業実施後の感想文から、理解度と満足度が高かったことが確認され、有効な啓発を行うことができた。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	地域政策課
87	Ⅰ Ⅰ Ⅲ	3 4 1	(3) (3) (3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	実施校区数 33校区	放課後子ども教室を、30校区において実施した。	4	平成25年度は新たに1校区開設するなど、実施校区数を毎年着実に増やしており、放課後の子どもの健全育成に貢献している。	33校区において実施。	子育て支援課
88	Ⅰ Ⅰ	3 2	(3) (3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施した。(園庭開放・子育て相談・ふれあい広場・体験入園・ふれあい運動会など)	5	設定した目標を達成している	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるよう環境整備を行う。	こども園運営課
89	Ⅰ Ⅰ	3 4	(3) (3)	動物愛護出前教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼育方法・接し方を身につけるため、夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやゲームを用いて動物愛護教室を実施	夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやカルタ、紙芝居等を用いて実施した。 実施回数:22回 参加人数:463名	4	実施回数が増加したため。	夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやゲームを用いて動物愛護教室を実施する。	生活衛生課
90	Ⅰ	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	中学校開放事業の利用者数は年々増加。 利用者数45,208人	4	例年通りの管理運営を行った。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡	スポーツ振興課
91	Ⅰ Ⅲ	3 1	(3) (3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施した。 実施率100%	4	実施率は100%であるが、実施回数や方法においてさらなる工夫ができると思われる学校もある。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校教育課
92	Ⅰ	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置した。 実施率97%	5	小中学校の目標値が達成された。0.3%の学校については、学校評議員という名称ではないが、同様の機能を果たす制度を設けている。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	学校教育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
93	I	3	(3)	中学校運動部活動講師派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	講師派遣予定数 15人 講師派遣期間 H25.5.1～H26.3.31 指導日数等 原則として週2回(1回2時間程度)	10人	4	派遣希望のあった学校に対し、希望に沿った指導者を武道部活動講師に委嘱・派遣することで、生徒の体力や発達段階を考慮し、かつ、効果的に部活動の指導ができた。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	保健体育課
94	I	3	(3)	青色パトロールによる巡回強化事業	市	視認性の高い青色回転灯を広報車に整備し、児童・生徒の安全確保を図るため、登下校時等に巡視活動を実施する。	青色回転灯付き公用車による巡視回数 580件	青色回転灯付き公用車による巡視回数 677件	5	通常ルートの登下校時等の巡視活動はもとより、危険性・緊急性の高い事案の発生した地域には臨時に巡視活動を実施した。	青色回転灯付き公用車による巡視回数 580件	少年育成センター
95	I	3	(3)	総合的な学習の時間活性化推進事業(再掲)	市	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	—	—	—	—	—	学校教育課
96	I	3	(3)	PTA地域活動促進事業(再掲)	市	PTA連絡協議会への活動を支援し、子どもの安全の確保のための不審者情報や健全育成情報等をメール配信する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
97	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,130人を目指す。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数は、647人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,130人を目指す。	
98	I I	4 5	(1) (1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数は、2,210人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	生涯学習センター
99	I I	4 5	(1) (1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数750人を目指す。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数は、841人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数770人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
100	I	I	4 5 (1) (1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数は、418人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	生涯学習センター
101	I		4 (1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2～5回程度、不定期に開催)	鶴羽神社(屋島西町)境内遺跡萩の前一本木遺跡(県農業試験場跡北側エリア)屋島城城門跡 等予定 参加者目標300人	屋嶋城門跡現地説明会(2回)・延べ452人 鶴羽神社境内遺跡現地説明会・40人 萩の前一本木遺跡現地説明会・100人等 計7回で914人が参加	5	それぞれの調査現場で積極的に公開行事を企画し、当初計画の3倍近い参加者を得ることができた。	鶴羽神社(屋島西町)境内遺跡、稲荷山姫塚、空港跡地遺跡(亀の前地区)、屋嶋城城門跡など6遺跡程度を予定	
102	I		4 (1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等予定 参加者目標500人	市政ふれあい出前講座、市民グループや学校活動による史跡見学など 高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群ほかで実施 参加者数: 1,448人(一般) 429人(学校) 計 1,877人	5	古代山城サミットの開催等と相まって屋嶋城城門跡の見学希望が多かったほか、高松城、石清尾山古墳群等についても見学希望者が多かったため、目標数を大きく上回った	高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等について前年度に引き続いて実施	文化財課
103	I		4 (1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	奈良県立万葉文化館や小泉八雲記念館など文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	奈良県明日香村(5月22日:万葉文化館ほか)や島根県松江市(10月23日:小泉八雲記念館ほか)を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施した。	4	成果は上がっているが、実施時期や訪問先など、より多くの市民が参加し、関心・教養の向上に資するよう工夫が必要。	中・西国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	
104	I		4 (1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を年10回、開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を6月～3月の毎月1回、計10回開催した。	4	成果は上がっているが、実施時期や講師の選定など、より多くの市民が参加し、関心・教養の向上に資するよう工夫が必要。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を年10回、開催する。	菊池寛記念館
105	I		4 (1)	ふるさと探訪事業(再掲)	市	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	—	—	—	—	—	文化財課
106	I		4 (2)	節水など水に関する教育	市	「上下水道知ってトーク」を開催し、水環境についての理解と協力・意見交換を図るほか、節水など実践行動につなげるため、コミュニティセンター・学校等に出向き説明を行う。	「水の上手な使い方」や「節水」等をテーマとした「上下水道知ってトーク」をコミュニティセンター・学校等に出向き実施する。	「水の上手な使い方」や「節水」等をテーマとした「上下水道知ってトーク」を9回実施した。また、小学校での出前授業で、節水コマの紹介をし、学校の蛇口にも有効であることを紹介した。	4	「上下水道知ってトーク」を9回開催し成果は上がっているが、節水と水の有効利用など実践行動につなげるため、講座内容を更に工夫していくことが必要である。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会を見つけ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	水環境対策室 企業総務課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
107	I	4	(2)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を実施する。 ・幼稚園、保育所、小・中学校での交通安全教室の開催 400回 ・高齢者等交通安全教室の開催 70回	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を実施した。	5	高齢者が運転免許証返納し、イルカカード交付時に高齢者交通安全読本による意識づけ教室を行ったため	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を実施する。	交通安全対策室
108	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる事業・施策、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、出向き説明および情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつをはじめ、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数が、目標値を上回ることができた。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広聴広報課
109	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施した。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に務めており、アンケートでも満足度が高い。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施。	中央卸売市場業務課
110	I	4	(2)	自主防災組織等育成(資機材助成・自主防災力強化)事業	地域コミュニティ協議会	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行う。	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行う。	コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行ったこと、23の地区校区から結成届が提出された。	5	設定した目標が達成されていないが、十分成果が上がっている。	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行い、未結成の地区校区に結成支援を行う。	予防課
111	I II	4 2	(2) (1)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	早明浦ダム周辺ボランティア清掃は、11月に実施し、公募市民72名を含む180名が参加した。地元水源地清掃については、12月に三郎池の清掃を行った。	5	当該事業への市民の関心は大変高く、市民の公募応募者数は定員を超えたほどであり、十分成果が上がっている。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	企業総務課
112	I	4	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ/座談会、報告会等を開催する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
113	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達を促進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	児童館数 7館 利用人数 50,000人	児童館数 7館 利用人数 55,390人	5	利用人数は目標値を上回っており、子どもの健全育成と子育て中の保護者の居場所づくりに貢献している。	利用人数 52000人	子育て支援課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	I	III	4									
114			(3)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体(補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	実施団体予定数 5団体	団体数…4団体 参加人数…300人 内容 ①セタ☆竹細工 ②わいわい寺小屋事業 ③なわ×なわジャンプ ④みそ作り体験	4	昨年度から引き続き申請していただいている団体に加えて、新たな団体からの申請も加わり、目標に近づいているため。	団体数 5団体	
115			(3)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日:平成26年2月2日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁小学校跡 施設 内容: 校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう) 自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催日:平成26年2月2日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア 参加者数:約6,000人 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	4	予定通り開催できた。	開催予定日:平成27年2月1日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	
116			(3)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催日:平成25年9月8日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	雨天のため、中止となった。	行事が中止となったため評価不可	—	開催予定日:平成26年9月7日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	生涯学習課
117			(3)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子どもの達と市の子ども達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成25年11月30日～12月1日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催日:平成25年11月30日～12月1日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 参加者数:54人 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	4	予定通り開催できた。アンケートの結果、9割が楽しかったとの評価であった。	開催予定日:平成26年11月29日～11月30日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	
118			(3)	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	市内8校区10農園で実施(H25.6～H26.3)	市内8校区10農園	4	目標達成まであと一歩であり、また今後は年度によるばらつきをなくし、それぞれの校区にとって恒例の行事としてもらえるよう努力が必要であると考えられるため。	市内10校区12農園	
119			(3)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鋳造・瓦製作体験学習を行う。	鋳造・瓦製作体験学習 参加者目標200人 その他体験学習行事 参加者目標200人	親子体験講座 土器の旅(全3回)、子ども体験講座「勾玉を作ろう」など5講座を開催し、延べ170人の参加を得た センター外へも3講座に出向き65人の参加を得た	4	主催講座、四番丁スクエア内の他施設との連携講座等を積極的に開催したが、まだ活性化の余地が考えられる。	鋳造・瓦製作体験学習 その他体験学習行事 (夏休み体験学習新規開催予定)	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
120	I	4	(3)	香南歴史民俗郷土館工作教室	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども工作教室を開催する。	ミニ埴輪・勾玉・化石のレプリカをつくろうなど9講座を開講予定。他に企画展と関連したワークショップを開講する。	H25年度9講座開催 「ミニ埴輪を作ろう」7/26、「親子布ぞうり教室」7/27、 「飛行機プラモをつくろう！」7/28、「縄文コースターをつくろう」7/30、「プリザーブドフラワー教室」8/3、 「化石のレプリカを作ろう」8/4、「古代の鏡 鋳造体験」8/9 「化石のクリーニング」8/11、「勾玉を作ろう」8/16	5	前年度より参加者が増加しているため。	H26年度11講座開催予定 企画展関連講演会「船のお話」7/21、「ミニ土偶を作ろう」7/24、「親子布ぞうり教室」7/26、 「化石のレプリカを作ろう」7/27、「勾玉を作ろう」8/1、「化石のクリーニング」8/3、「土鈴を作ろう」8/6、「プリザーブドフラワー教室」8/9、「『しんかい』プラモをつくろう！」8/10、「土笛を作ろう」8/12、「縄文コースターをつくろう」8/19	香南歴史民俗郷土館
121	I	4	(3)	放課後子ども教室(再掲)	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	—	—	—	—	—	子育て支援課
122	I	4	(3)	動物愛護出前教室(再掲)	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	—	—	—	—	—	生活衛生課
123	I	4	(3)	親子文化財教室(再掲)	市	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	—	—	—	—	—	文化財課
124	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	3	計画どおり実施した。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	生涯学習センター
125	I	5	(1)	センター利用促進事業(再掲)	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサーや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	—	—	—	—	—	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	部	課	事業									
126	I	5	(1)	まなびCAN・CSR教室(再掲)	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	—	—	—	—	—	生涯学習センター
127	I	5	(1)	他団体との連携事業(再掲)	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	—	—	—	—	—	
128	I	5	(2)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、現施設の有効活用を基本とした中期整備指針を策定し、これに基づき実施する。	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②十河コミュニティセンター耐震化改修工事 ③国分寺南コミュニティセンター耐震化改修工事 ④西植田コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ⑤東植田コミュニティセンターの耐震化に伴う工事実施設計 ⑥木太コミュニティセンター耐震化に伴う基本設計	①鬼無・円座コミュニティセンター耐震補強・改修工事 ②香川町農村環境改善センター跡施設コミュニティセンター化改修工事等 ③東植田コミュニティセンター改築基本設計	4	林コミュニティセンター改築実施設計及び、十河・国分寺南部コミュニティセンター耐震補強・改修設計については繰越となったため。	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②十河コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ③国分寺南コミュニティセンター耐震化改修工事 ④西植田コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ⑤東植田コミュニティセンターの耐震化に伴う工事実施設計 ⑥木太コミュニティセンター耐震化に伴う基本設計	地域政策課
129	I	5	(2)	コミュニティセンター講座(再掲)	市	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	—	—	—	—	—	—
130	I	5	(2)	高齢者教室(再掲)	市	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	—	—	—	—	—	生涯学習センター
131	I	5	(2)	女性教室(再掲)	市	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	—	—	—	—	—	—

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
132	I	5	(2)	コミュニティセンター同好会事業(再掲)	市, コミュニティセンター	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	—	—	—	—	—	生涯学習センター
133	I	5	(2)	生涯学習推進員養成研修(再掲)	市, コミュニティセンター	コミュニティセンター職員や地域で生涯学習を推進・援助するスタッフ(人材)を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	—	—	—	—	—	
134	I	5	(2)	コミュニティセンターだよりの発行(再掲)	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	—	—	—	—	—	
135	I	5	(2)	コミュニティセンター等パソコン講習会(再掲)	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	—	—	—	—	—	
136	I	5	(3)	エコホテルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターの施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネル・インターネット情報提供を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学 体験学習事業(紙すき等) 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年12回 施設紹介・分別収集啓発用パンフ印刷・配付 インターネット等情報提供事業 エコホテル体験学習業務委託(コラボレーション事業) パネルの展示 	施設見学会を通じて自分たちが出したごみ処理の現状と課題やリサイクルについて学ぶ機会を提供した。 また、展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、インターネットなどで環境問題を考えるなど、地球規模での温暖化対策の必要性を学習した。工作室では、紙すきや工作会を実施して、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。 ・見学者数(学習室利用者を含む)は年3, 015人 ・体験学習事業(紙すき等) ・自主企画事業(親子リサイクル工作会・施設見学会)年13回 ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷、配付 ・インターネット等情報提供事業	4	施設見学会では、目標の3, 100人には少し及ばなかったものの3, 015人の参加があり、自分たちが出したごみの処理状況やリサイクルの方法などについて学習した。 また、自主事業(親子リサイクル工作会や見学会)を13回実施し、楽しみながらリサイクルを体験してもらった。参加していただいた方々には、分別収集啓発パンフレット等を配付し、分別意識の啓発を図った。	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学 体験学習事業(紙すき等) 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年13回 施設紹介・分別収集啓発用パンフ印刷、配付 インターネット等情報提供事業 エコホテル体験学習業務委託(コラボレーション事業) パネルの展示 	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
137	I	5	(3)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	高松市美術館 特別展・常設展開催 塩江美術館 企画展・常設展開催	美術館主催者として特別展および常設展を開催。実施回数20回、観覧者数57,099人	3	積極的な来館者誘致を計っているが、有料入場者数が減少し、団体鑑賞も減っているため。	特別展11回、常設展7回の実施を予定。	
138	I IV	5 1	(3) (2)	瀬戸内アートネットワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンプラリーを実施する。	瀬戸内アートネットワーク共通パンフレット作成 スタンプラリー実施	スタンプラリー応募者数257人	3	来館者誘致を計っているが、有料入場者数が減少しているため。	スタンプラリーを実施する。	
139	I	5	(3)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	子どものアトリエ開催	子どものアトリエ実施回数5回、参加者数70人	4	設定した目標が達成されているなど、十分成果が上がっているため。	子どものアトリエを実施する。	美術館美術課
140	I	5	(3)	アートで遊ぼう！(鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	アートで遊ぼう！(鑑賞プログラム)実施	アートで遊ぼう！実施回数3回、参加者数13人	3	来館者誘致を計っているが、有料入場者数が減少しているため。	アートで遊ぼう！を実施する。	
141	I	5	(3)	企画展・常設展等展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示・企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「大作家漆原の調度と生活」、企画展「古今高松大物産展」、「屋嶋城が築かれた時代展」、「藤澤東岐展」、「絵図・地図展」、7個のロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「大作家漆原の調度と生活」、企画展「古今高松大物産展」、「屋嶋城が築かれた時代」、「知の巨人藤澤東岐展～没後150周年～」、「MAPS～古地図の楽しみ方～」、10回のロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開した。	5	前年度より入館者数の増加がみられたため。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、企画展「再発見！桃太郎の世界」、「船と鉄道」、「輝きの備前の名刀展」、「屋嶋展」、収蔵品展「高松市の商店街史」、6回のロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	歴史資料館
142	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会(補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	第22回文学展(吉川英治展)を開催し、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	菊池寛記念館第22回文学展「吉川英治展ー没後50年記念 読み継がれる吉川英治文学ー」を開催した。	5	目標が達成され、十分な成果が上がっている。	第23回文学展「怖くて不思議な文学」を開催し、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	菊池寛記念館
143	I	5	(3)	図書館等資料整備事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費(87,630,000円)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費(85,105,842円)	4	予算執行率が97%であり、更なる計画的な執行の余地がある。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費(89,228,000円)	中央図書館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	部	課	事業									
144	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館の利用が困難な郊外地域85ステーションを巡回実施するとともに、平成22年4月からは、直島町と瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定書を締結して、直島町2ステーションにも移動図書館車の巡回サービスを実施。 160,000冊	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館の利用が困難な郊外地域86ステーションと、瀬戸・高松広域定住自立圏の直島町2ステーションに巡回サービスを実施した。 142,680冊	4	成果が上がっているが、ステーションの見直しが必要である。	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館と、直島町2ステーションを含む89ステーションに巡回サービスを実施。 160,000冊	中央図書館
145	I	5	(3)	高松テルサ文化教養・研修事業(再掲)	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	—	—	—	—	—	産業振興課
146	I	5	(3)	埋蔵文化財センター体験学習(再掲)	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鋳造・瓦製作体験学習を行う。	—	—	—	—	—	文化財課
147	I	5	(3)	本のソムリエ派遣事業(再掲)	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	—	—	—	—	—	中央図書館
148	II	1	(1)	ゆめづくり推進事業	市	地域コミュニティとして、地域課題の解決・改善につながり他地域のモデルとなる事業に補助金を交付する。	前年度から事業提案があった24地区地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	事業提案のあった、24の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付した。	4	未実施地区が25年度末現在で10地区残っている。	事業提案のあった、26の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	地域政策課
149	II	1	(1)	地域コミュニティまちづくり活動支援事業	市	コミュニティプランを策定した地区(校区)に対し、地域コミュニティ組織の運営および事業計画策定の会議等経費を補助金として交付する。	2地区コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	対象である2地域コミュニティ協議会に対し、会議棟経費として補助金を交付した。	5	当事業は、時限付きの補助金であり、25年度をもって事業終了となった。	なし	地域政策課
150	II	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	行政からの課題テーマに地域コミュニティ協議会の課題を加え、自由テーマと合わせて、年2回募集し、選考の上、委託事業・補助事業を実施する	委託事業7件 補助事業3件	5	前年度より実施事業数が増加し、成果が上がっているため。	課題テーマと自由テーマを合わせて、年2回、企画提案を募集し、書類審査、プレゼンテーション審査を行った上、委託事業・補助事業を実施する。	市民協働推進室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	II	1	(1)									
151	II	1	(1)	「食育」で心と体いきいき事業	各種団体(委託)	地域の食育を推進するため、各種団体から事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	地域における食育を推進するため、各種団体から、テーマに基づいた事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	地域の食育を推進するため、各種団体から、テーマに基づいた事業提案を募集し、採択事業を委託実施した。事業数:5事業	4	より効果的に、地域における食育の推進を行うためにも、募集や事業実施の周知方法等を検討する必要がある。	地域の食育を推進するため、各種団体から、テーマに基づいた事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	保健センター
152	II	1	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。観光客へのサービス向上を図るため、研修会等によりボランティアガイドの育成に努めるとともに、他のガイド団体との連携を図る。	玉藻公園では新たに和船事業を取り入れ、ガイドとの連携ができ、観光客にさらに支持を得た。サンポートは外部と連携し、小学生を対象とした活動ができた。	2	目標値を大幅に下回ったため。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。ガイド事業を継続させるためにも、新人会員の育成も重点的に取り組む。	観光交流課
153	II	1	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	美術館ボランティアcivilによる特別展のギャラリートーク、ワークショップのアシスタントなど実施	開催特別展のギャラリートークを実施する。実施回数55回、延参加者886人	4	設定した目標が達成されているなど、十分成果が上がっているため。	開催特別展のギャラリートークを実施する。	美術館美術課
154	II	1	(2)	市民の学習成果発表の場提供事業	市	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を29講座開催した。	5	講座開催回数は、目標を上回った。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	
155	II	1	(2)	生涯学習センター遊友塾	市	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援する。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数は、675人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	生涯学習センター
156	II	1	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数は、851人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	
157	II	1	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行った。	4	前年度と同様の活動内容	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解読ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーターを募集し、サポーター数の増加を図る。	歴史資料館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅱ	1	(2)									
158	Ⅱ	1	(2)	よみかかせたいJr派遣事業(再掲)	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	—	—	—	—	—	中央図書館
159	Ⅱ	2	(1)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施する。	現行事業の拡充 まちづくり学校文化祭 ボランティア活動活性化事業 先進地視察 災害ボランティアセンター運営訓練等	5	前年度の事業に加え、新たに事業を実施した。	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	市民協働推進室
160	Ⅱ Ⅰ	2 1	(1) (1)	市民グループ学習支援事業	市	自発的な学習意欲を持つ市民団体を公募し、女性の資質・能力の向上や家庭教育に関する学習活動を助成する。	【女性教室】実施団体数:5団体 【家庭教育学級】実施団体数:6団体	・女性教室実施団体数:4団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	4	概ね達成できた。	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	生涯学習課
161	Ⅱ	2	(1)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業(再掲)	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	—	—	—	—	—	企業総務課
162	Ⅱ	2	(2)	大学等との連携事業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	包括協定を締結している大学等と多分野・多面的な連携を推進する。また、新たな大学との包括協定の締結を検討する。	包括協定を締結している大学と新たに6つの連携事業を実施した。また、新たに徳島文理大学と包括協定を締結した。	4	本市の行政課題について、大学等の持つ知見を活用した調査研究を行うことにより、解決方法を見出す余地はあると考えられる。	包括協定を締結している大学との連携事業及び、地(知)の拠点整備事業を推進する。また、新たな大学との包括協定の締結を検討する。	政策課
163	Ⅱ	2	(2)	シルバー人材センター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大し、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	4	設定した目標が概ね達成され、成果が上がっている	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	長寿福祉課
164	Ⅱ	2	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	14か所のため池(8団体)で実施予定	14か所のため池(8団体)で実施	4	地元の活動組織体制が調えば、新たな取り組みが実施できる	15か所のため池で実施予定	土地改良課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅱ	Ⅲ	2									
165	Ⅱ	Ⅲ	2 2 (2) (1)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪や、食べ歩き等、様々なジャンルでコースを作成し、更に多くの参加者ニーズに対応できるように構築するため、各施設・団体およびまちづくり関係者等と連携・協力し、まちかど漫遊帖事業を実施。また、市民ツアープロデューサー養成講座を開催し、新たな市民ツアープロデューサーの公募や、まち歩きガイドとしてのレベルアップを図る。	歴史探訪や、食べ歩き等様々なジャンルのコースを構築。新たな市民ツアープロデューサーが参加し、バラエティに富んだコース構成となり、幅広い年齢層からの参加を得た。	4	目標値は達成したが、更に集客力の向上を図る必要があるため。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課
166	Ⅱ		2 (2)	NPO等の活用による環境学習活動(再掲)	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	—	—	—	—	—	環境保全推進課
167	Ⅱ		2 (2)	知的障害者青年教室(再掲)	市	知的障害のある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障害者への理解を深める機会として教室を開講する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
168	Ⅲ		1 (1)	老人大学事業	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。	25年5月～26年2月 定員165名(各学科55名ずつ)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講した。	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。	長寿福祉課
169	Ⅲ	Ⅰ	1 5 (1) (2)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	3	計画どおり実施した。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	生涯学習センター
170	Ⅲ		1 (1)	市民登山学校(再掲)	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため、講座を実技を開講する。	—	—	—	—	—	スポーツ振興課
171	Ⅲ		1 (2)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催した。	5	予定通り事業が実施され、また設定した目標が達成されているため	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	男女共同参画推進室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	Ⅰ	()									
172	Ⅲ	1	(2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	中間支援組織である市民活動センターの更なる利用のため、センターの周知ができる事業を行い、市民活動団体や他の団体との連携を図る。	まちづくり学校文化祭	5	各種団体の交流、活動成果の発表の場を設け、今後につなげることができた。	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	市民協働推進室
173	Ⅲ	1	(2)	子ども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、打ち解けた雰囲気の中で互いのことを知り、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	「部門別会議」 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 「座談会」2回	4	部門別において、ほぼ計画通りであったが、子育てサークル部門は参加希望者が1か所しかなかったため開催ができなかった。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	子育て支援課
174	Ⅲ Ⅰ Ⅳ	1 4 1	(2) (2) (2)	家庭・地域の教育力向上推進事業	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ・座談会、報告会等を開催する。	○各種団体によるネットワーク会議(年4回以上)の開催と情報紙(年2回以上)の発行 ○「子どもを中心においた地域づくり」モデル事業(2地域)のワークショップ(年4回以上)と中間報告会の開催	・ネットワーク会議(推進委員会)の開催:5回(60人) ・子育て新聞の発行:2回(11月・3月) ・モデル地域でのワークショップ:2地域各4回(143人) 中間報告会の開催:5回(334人)	4	地域及び団体の協力により予定どおり開催できた。	・ネットワーク会議(推進委員会)の開催:4回 ・子育て新聞の発行:2回 ・モデル地域でのワークショップ:2地域各4回 ・最終報告会の開催	生涯学習課
175	Ⅲ	1	(3)	掃除教育「びびかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	(こども園運営課・学校教育課)幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行った。	5 (こども園運営課・学校教育課とも)	設定した目標を達成している	(こども園・学校教育課)幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	こども園運営課 学校教育課
176	Ⅲ Ⅰ	1 1	(3) (4)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	109回 7,975人	4	回数は、減少したが、参加数は増加している。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	スポーツ振興課
177	Ⅲ	1	(3)	放課後子ども教室(再掲)	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	—	—	—	—	—	子育て支援課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	1	(3)									
178	Ⅲ	1	(3)	スマイルあいさつ運動(再掲)	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	—	—	—	—	—	学校教育課
179	Ⅲ	1	(3)	新春子どもフェスティバル(再掲)	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多様なプログラムで開催する。	—	—	—	—	—	
180	Ⅲ	1	(3)	子ども会フットベースボール大会(再掲)	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	—	—	—	—	—	
181	Ⅲ	1	(3)	こども農園事業(再掲)	市	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
182	Ⅲ	1	(3)	子どもわくわく体験支援事業(再掲)	市	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	—	—	—	—	—	
183	Ⅲ	1	(3)	高松・嶺北子ども交歓会(再掲)	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子どもの交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	—	—	—	—	—	
184	Ⅲ	2	(1)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	地域で活躍するリーダー的人材を養成するため、研修会、講演会を開催する。	地域コミュニティ人材養成事業 平成26年2月22日(土) 基調講演会『コミュニティデザインで高松を元気に』 講師 studio-L 代表 山崎 亮氏	4	300人以上の参加があり、参加者に対してのアンケート結果も概ね好評であった。	地域コミュニティ人材養成事業 平成26年2月下旬 テーマ、講師 未定	地域政策課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	Ⅱ	(1)									
185	Ⅲ	2	(1)	地域防災リーダー育成セミナー	市	防災に関する基本知識・技能を有する人材育成のため、意欲ある市民を対象に、防災に関する各専門分野の講師によるセミナーを開催する。	地域防災リーダー育成セミナーの実施 6月27日～7月25日 毎木曜日 19:00～21:00 計5回	実施計画どおり 6月27日～7月25日 毎木曜日 19:00～21:00 計5回実施	5	当初予定していた参加者数を上回る人数の受講があり、計画どおりセミナーを開催し、地域の防災リーダーの育成に努めた。	7月5日(土)午後、7月12日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	危機管理課
186	Ⅲ	2	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	認知症について正しく知り、偏見を持たず、認知症の人やその家族を暖かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する。 認知症サポーター養成講座の開催5,000人養成	認知症サポーター養成 回数:152回 人数:6,120人養成	5	目標を上回るサポーターを養成することができ、認知症への理解が広がり、安心して生活できる地域へ近づくことができたため。	認知症について正しく知り、偏見を持たず、認知症の人やその家族を暖かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する。 認知症サポーター養成人数:5,000人養成	地域包括支援センター
187	Ⅲ Ⅰ	2 3	(1) (3)	PTA地域活動促進事業	市	PTA連絡協議会への活動を支援し、子どもの安全の確保のための不審者情報や健全育成情報等のメール配信を支援する。	【メール配信事業予定数】 市立小学校:48事業 市立中学校:22事業 【メール配信登録率】 市立小学校:97% 市立中学校:97%	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信事業の補助金を支出(運営事業:6月、10月 メール配信事業:6月)	4	予定通り助成した。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信事業の補助金の交付	
188	Ⅲ	2	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付	高松市子ども会育成連絡協議会へ補助金を支出(6月、10月)	4	予定通り助成した。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付	生涯学習課
189	Ⅲ	2	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	高松市青年連絡協議会に対する運営補助金の交付および青年活動と青年教育振興のため、同協議会活動への協力	H25年度高松市青年連絡協議会運営事業補助金の交付 香川県青年問題研究会等への参加	4	予定通り、助成した。 また、高松市青年連絡協議会主催のわいわい寺子屋事業の参加募集及び申込み受付等を行った。	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。また、成人式スタッフ等の参加を通して、市青連の会員数を更に増やしていく。	
190	Ⅲ	2	(1)	指導者のためのセミナー	市	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進するため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催する。	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進のため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催し、講座参加人数80人を目指す。	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進のため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催し、講座参加人数は、9人であった。	2	講座参加人数は、目標に達しなかった。	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進のため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催し、講座参加人数80人を目指す。	
191	Ⅲ Ⅰ	2 5	(1) (2)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数430人を目指す。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数は、462人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数430人を目指す。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	2	(1)									
192	Ⅲ	2	(1)	地域における人権啓発推進事業(再掲)	市	人権啓発推進員への研修会の開催のほか、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営および広報活動を実施する。	—	—	—	—	—	人権啓発課
193	Ⅲ	2	(1)	まちかど漫遊帖事業(再掲)	市	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	—	—	—	—	—	観光交流課
194	Ⅲ Ⅳ	2 1	(2) (1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)や屋外で希少野生生物等の観察を行う自然観察体験事業を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。	事業計画に従い、環境ワークショップや環境学習支援事業、自然観察体験事業を実施した。	4	多岐に渡る事業を実施したが、参加者数が前年度より減少したため。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。 また、26年度は瀬戸内海国立公園指定80周年であるため、瀬戸内海の環境保全について学ぶ講座を実施する。	環境保全推進課
195	Ⅲ	2	(2)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少, 少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブのさらなる結成を推進する。	既存の幼年・少年消防クラブの活性化ならびに拡充に取組み、火災予防意識の啓発を行ったことで幼年クラブが53クラブに、少年クラブが18クラブになった。	5	設定した目標が達成されている等、十分成果が上がっている。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	予防課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	2	(2)									
196	Ⅲ	2	(2)	子ども育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回:新役員講習会 開催日:平成25年5月12日(日) 開催場所:塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 開催日:平成25年7月13日(土) 開催場所:高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 第3回:ジュニアリーダー研修会 開催日:平成25年7月27日(土)～28日(日) 開催場所:香川県青年センター 第4回:育成会指導者講習会 開催日:平成25年11月16日(土) 開催場所:高松市中央卸売市場 第5回:リーダー研修会 開催日:平成26年2月15日(土)～16日(日) 開催場所:島根県三瓶青少年交流の家	第1回:新役員講習会 日時:平成25年5月12日(日) 場所:塩江セカンドステージ 参加者数:103人 第2回:リーダー研修会 日時:平成25年9月21日(土) 場所:高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 参加者数:50人 第3回:ジュニアリーダー研修会 日時:平成25年7月27日(土)～28日(日) 場所:香川県青年センター 参加者数:18人 第4回:育成会指導者講習会 日時:平成25年11月16日(土) 場所:高松市中央卸売市場 参加者数:56人 第5回:リーダー研修会 日時:平成26年2月15日(土)～16日(日) 場所:島根県国立三瓶青少年交流の家 参加者数:71人	4	予定通り開催できた。	第1回:新役員講習会 開催日:平成26年5月11日(日) 開催場所:塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 開催日:平成26年7月12日(土) 開催場所:高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 第3回:ジュニアリーダー研修会 開催日:平成26年8月23日(土)～24日(日) 開催場所:香川県青年センター 第4回:育成会指導者講習会 開催日:平成26年10月18日(土) 開催場所:未定 第5回:リーダー研修会 開催日:平成27年2月14日(土)～15日(日) 開催場所:島根県三瓶青少年交流の家	生涯学習課
197	Ⅲ	2	(2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研究会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間:30時間	派遣時間:18時間 派遣回数:10回	3	例年通り各校区子ども会へ周知したが、希望が少なかった。	派遣予定時間:30時間	
198	Ⅲ I	2 2	(2) (3)	少年相談員養成事業	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	相談員配置校区数 90人 42校区	相談員配置校区数 94人 35校区	4	相談員の未配置校区が存在する。	相談員配置校区数 100人 40校区	少年育成センター
199	Ⅲ II	2 1	(2) (2)	よみかかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	新高松市子ども読書活動推進計画に基づき、「よみかかせたいJr」による老健施設等での読み聞かせを実施する。本事業を通して、子どもたちに学びの成果を発表する場や機会を提供する。 よみかかせたいJr(高松市図書館よみかかせたいJr(1期生,2期生),高松市国分寺図書館キッズ読み聞かせ隊)	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施した。	4	隊員数は増加しており、図書館内のイベントで活発に活動している。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	中央図書館
200	Ⅲ	2	(2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業(再掲)	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	—	—	—	—	—	子育て支援課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	2	(2)									
201	Ⅲ	2	(2)	成人式式典事業(再掲)	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
202	Ⅲ	3	(1)	文書管理体制再構築事業	市	歴史公文書等を適切に保存し、市民の利用に供することができるよう市の文書管理体制の再構築を図る。	公文書館整備 歴史公文書等選別 特定歴史公文書等目録検索システム開発・運用	公文書館整備 歴史公文書等選別 特定歴史公文書等目録検索システム開発・運用	3	公文書館整備、特定歴史公文書等目録検索システム開発・運用に関しては計画どおり進んだが、歴史公文書等選別については目標としていた数値に及ばなかったため。	公文書館整備 歴史公文書等選別	総務課
203	Ⅲ	3	(1)	こども未来館(仮称)整備事業	市	市民文化センター本館跡地に、子どもを主体とした、子どものための施策、事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設として、「こども未来館(仮称)」を整備する。	こども未来館(仮称)の開館に向け、建築実施設計、展示設計および管理運営計画の作成に取り組む。	管理運営検討懇談会を設置し、関係者からの意見を聞きながら、事業運営計画を策定するとともに建築・展示設計の取りまとめ作業を進めた。	4	関係者の意見集約に日時を要し、25年度中に建築・展示設計が完了できなかったが、設計内容については概ね取りまとめることができた。	事業プログラムや運営体制の検討を進めるとともに、建築・展示設計を終え、事業費を積算し、補正予算議決後、入札・契約を行い、工事に着手する。	こども未来館整備室
204	Ⅲ	3	(1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	検討懇談会 基本設計・実施設計業務 用地取得	検討懇談会	2	計画の1部しか実行できていない。	基本構想・実施設計業務 用地取得	
205	Ⅲ	3	(1)	ヨット競技場再整備事業	市	老朽化施設を改修し、マリンスポーツを通し健康増進・相互交流・利便性の向上、競技選手の育成等を図る。	プロポーザルで業者選定、設計業務	基本設計	3	運用面の検討していく必要あり	実施設計	スポーツ振興課
206	Ⅲ	3	(1)	屋島陸上競技場再整備事業	市	東讃地域で唯一の公認陸上競技場である現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想・計画に基づき再整備する。	建設工事	H24に完了した実施設計を基に、建設工事を発注したが、応札者がなく不調となった。このことから、再度、設計の積算を行い、H26当初に発注できるように準備を行った。	3	建設工事が不調となり、設計の再積算に時間を要し、再整備のスケジュールが遅れることとなったため。	建設工事発注 H28中の竣工	
207	Ⅲ	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	美術品の収集(購入、寄贈)	日本の現代美術や讃岐漆芸などの作品を収集する。収集点数5点。	3	美術品購入予算が減少しているため。	日本の現代美術や讃岐漆芸などの作品を収集する。	美術館美術課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	3	(1)									
208	Ⅲ	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	5	資料収集、保存管理等の作業が順調に進められたため。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか
209	Ⅲ	3	(1)	菊池寛遺品整理・収集	市	郷土の偉大な文化人で文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を顕彰するため、遺品収集・整理等を行う。	菊池寛記念館に収蔵している遺品等の調査・整理等を行う。	菊池寛記念館に収蔵している遺品等の調査・整理等を行った。	5	菊池寛記念館収蔵資料目録作成のためのデータが整った。	菊池寛記念館収蔵資料目録を刊行する。	菊池寛記念館
210	Ⅲ	3	(1)	収蔵品システム運営事業(再掲)	市	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	—	—	—	—	—	歴史資料館ほか
211	Ⅲ	3	(2)	菊池寛およびその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。実施率100%	4	実施率は100%であるが、実施方法においてさらなる工夫ができると思われる学校もある。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	学校教育課
212	Ⅲ	3	(2)	屋島城城門遺構整備事業	市	屋島城城門遺構を復元し、屋島山上の観光資源、古代の歴史を体感できる生涯学習資源として活用できるよう整備する。	屋島城城門遺構(城門跡北側石垣)解体工事遺構整備状況等現地説明会 3回程度予定 その他随時対応 400人程度目標	屋島城城門遺構(城門跡北側石垣)解体工事ほか周辺環境整備実施設計等を実施した。 現地説明会2回 452人参加 見学希望団体案内 21団体 1525人	5	整備工事を計画通りに実施し、現場見学希望者にもできる限り対応して史跡整備の過程や重要さについてアピールできた。当初計画の4倍以上、前年度比3倍の見学者を得た	屋島城城門遺構(城門跡北側石垣)整備工事を実施 現地説明会開催(1回) その他見学希望団体対応 サンク礼屋島学習受入	文化財課
213	Ⅲ	3	(2)	民具資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の事前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	民具の事前展示・学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館コピーでの民具の展示「昔の商い」、「えとのがんく馬」、「地図づくりの道具たち」 民具の事前講座	4	出前講座の回数が減少したため。	歴史資料館等施設での民具展示、出前講座等を行う。	歴史資料館
214	Ⅲ	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催した。	5	講座受講者が増加しており、市民への教育普及活動が図られている。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	歴史資料館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
215	Ⅲ	3	(2)	夏休みに郷土高松の歴史を探ろう	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。25年度は「古代屋島を探検しよう」をテーマに遍路道を辿り古代屋嶋城を訪ねる。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。25年度は「古代屋島を探検しよう」を開催した。(2回参加者33人)	4	雨天のため開催日数が減少したため。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として「栗林公園の歴史を探ろう！」を実施予定。(7/31・8/2開催)	歴史資料館	
216	Ⅳ	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報をはじめ各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報をはじめ、各種の市政情報を適時適切に掲載できていた。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	広聴広報課
217	Ⅳ	1	(1)	広報たかまつによる情報提供	市	生涯学習情報をはじめ各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	「広報たかまつ」を、月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報をはじめ、各種の市政情報を適時適切に掲載できている。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	広聴広報課
218	Ⅳ	1	(1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	・子育て支援総合情報発信事業(委託料 4,250千円) (ひとり親家庭情報発信事業) サイトの情報更新・運営管理、ハンドブックの情報管理などを行う。 子育てハンドブック「たかまつらっこ」の内容見直し(10,000部) 子育て支援総合情報サイト「らっこネット」の運営 ひとり親サポートハンドブックの発行とひとり親ウェブサイトの情報更新・運営管理 ひとり親家庭向け情報誌「たかまつひとり親家庭サポートブック」の情報管理および増刷	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 母子健康手帳交付時に配布するほか、子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」 らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。また、マップ検索機能を追加している。 年間アクセス件数 2,870,485件 月平均アクセス件数 239,207件 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの構築	4	昨年と同様、子育てハンドブックを10,000冊増刷し、ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行ったため。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」 らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	子育て支援課
219	Ⅳ	1	(1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業、および利用者への各種情報提供を行う。	計画通り行えた。	5	計画通り行えた。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業、および利用者への各種情報提供を行う。	スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
220	IV	1	(1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋)	児童館開催の行事(子育て支援課からの情報)、広報たかまつやまなびかんづめ(生涯学習センター情報誌)、また美術館等の子ども向けのイベントを掲載した。	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋)	生涯学習課
221	IV	1	(1) (2)	コミュニティセンターだよりの発行	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	3	計画どおり実施した。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	生涯学習センター
222	IV	1	(1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、15ヶ所に配布する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	5	配布ヶ所数は、目標を上回った。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、15ヶ所に配布する。	生涯学習センター
223	IV	1	(1)	環境学習・環境教育の推進事業(再掲)	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	—	—	—	—	—	環境保全推進課
224	IV	1	(1)	多文化共生事業(再掲)	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	—	—	—	—	—	都市交流室
225	IV	1	(1)	家庭教育情報テレビ事業(再掲)	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
226	IV	1	(2)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営した。	4	ほとんどの地域コミュニティ協議会が「コミネット高松」を利用して、市民向けの地域の情報を発信した。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。また、さらに使いやすいサイトにするため、現在、リニューアルを検討している。	地域政策課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
227	IV	1	(2)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体や団体の活動に関する情報(イベント、助成等)を収集・発信した。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体や団体の活動に関する情報(イベント、助成等)を収集・発信した。	5	当該サイトの登録団体数は着実に増加し、情報の発信が広がっているため。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	市民協働推進室
228	IV	1	(2)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	3	計画どおり実施した。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	生涯学習センター
229	IV	1	(2)	瀬戸内アートネットワーク事業(再掲)	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンプラリーを実施する。	—	—	—	—	—	美術館美術課
230	IV	1	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ・座談会、報告会等を開催する。	—	—	—	—	—	生涯学習課
231	IV	1	(3)	生涯学習センター等の学習相談事業	市	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	1	26年度供用開始を想定していた、システム開発が認められなかったため、集計する体制ができていない。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	生涯学習センター
232	IV	1	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	3	計画どおり実施した。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	生涯学習センター
233	IV	1	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。平成19年度には、レファレンスデータベースの構築を行い、利用者がホームページで検索できるようになった。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	4	利用者からの問合せ・調査は概ね回答できた。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	中央図書館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	部	課	番号									
234	IV	1	(3)	消費生活相談事業(再掲)	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	—	—	—	—	—	地域政策課
235	IV	2	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	3	計画どおり実施した。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センター
236	IV	2	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	全小中学校における情報モラルに関する教員研修、学級担任による情報モラル教育を支援する。	児童生徒・保護者及び学校を対象としたアンケート調査を行い、結果の概要を保護者及び学校に配布するとともに、ホームページに掲載し、情報利用について注意を喚起した。	4	アンケート調査、資料作成等概ね当初の計画を達成できた。	情報モラルの保護者啓発資料を時代に即した改定を行い、学校での研修や家庭における利用を図る。	総合教育センター
237	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	広報たかまつの発行に併せて、登録者332人のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信した。	5	登録者数は、目標を上回った。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	生涯学習センター
238	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで7講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで9講座公開した。	5	公開講座数は、目標を上回った。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで7講座公開する。	生涯学習センター
239	IV	2	(2) (1)	収蔵品システム運営事業	市	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理を進め、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。 登録件数:99,301件 アクセス数:18,239回	5	登録件数、アクセス件数ともに増加しているため。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館ほか
240	IV	2	(2)	図書館のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	5	システム更新により、更に利用しやすいサービスを提供できた。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	中央図書館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	25事業内容(計画)	25事業内容(実績)	今期の評価	評価の理由	26事業内容(計画)	課名
	IV	2	(2)									
241	IV	2	(2)	新しいメディアの活用	市	「メルマガもっと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもっと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	平成26年1月17日配信分より、生涯学習課主催及び共催事業等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報配信を行った。	4	平成25年度に配信スタートすることができた。	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもっと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	関係各課